

「世界一」を実感 ルイ・ヴィトン杯 届く



昨年7月、ブラジルで開催された「ロボカップ世界大会2014」で未来ロボティクス学科のチーム「CIT Brains」が獲得した「ベストヒューマノイド」に与えられる「ルイ・ヴィトン・ヒューマノイドカップ」=写真中央=が昨年末、本学に到着。12月17日、チームメンバーが瀬戸熊修理事長、小宮一仁学長を交えて記念撮影を行い、改めて「世界一」の実感をかみしめた。

ロボカップ'14世界戦 完全優勝の本学に

■ 今年も一予感
大会から5カ月、厳重な輸送態勢で本学に到着した「ルイ・ヴィトン・ヒューマノイドカップ」は、高さ22センチの台の上に、LとVをかたどったルイ・ヴィトンのモノグラムとアイコンが描かれた直径15センチの水晶玉が載っている。

「2050年までにワールドカップ・サッカーのチャンピオンに勝つ自律型ヒューマノイドロボットを作る」というロボカップの趣旨に賛同したルイ・ヴィトン社が提供した、同大会唯一のカップだ。

「ロボカップサッカー」の「ベストヒューマノイド」は、サイズ別にキッド、ティーン、アダルトの3リーグに分かれて戦ったロボットの中から、全出場チームの投票で選ばれる。

昨年の大会で「CIT Brains」はキッドサイズ・リーグに出場し、決勝トーナメントではフランスやイラン、イギリスなどのチームを次々と破り、圧倒的な強さを発揮。また、頭の良さ(人工知能)と、身体能力の高さ(メカニクス)を競うテクニカルチャレンジでも抜群の成績を残した。

津田沼1号館の役員会



特製ハードケースに入ったカップに喜ぶチームメンバー

未ロボ開設9年、感慨無量
瀬戸熊修理事長の話 未来ロボット技術研究センターを立ち上げ、未来ロボティクス学科を開設して、9年が経過できたことは感慨無量です。本学にはほかにも惑星探査研究センターなど「世界に通じる研究がいろいろあるが、何事も「世の中の役に立つ」という目標をもって取り組むことが基本だと思う。ロマンを胸に、確固たる自信をもって、オール千葉工大で創立100周年に向かって邁進していきたい。



「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「世界のトップに立ったチームとして、私たちは大会で勝つことはもちろんだが、技術的にもこれから先のビジョンを世界に示す責任があります」と、CIT Brainsを率いる林原靖男教授はいう。

■ 連覇へ課題は
「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「世界のトップに立ったチームとして、私たちは大会で勝つことはもちろんだが、技術的にもこれから先のビジョンを世界に示す責任があります」と、CIT Brainsを率いる林原靖男教授はいう。

チバニーが「お年玉」
タウンキャンパスで先着の子どもたちに
2015年元日、東京スカイツリータウンキャンパスでは、本学公式キャラクター「チバニー」が今年初の来場者を出迎

「ロボカップサッカー」の「ベストヒューマノイド」は、サイズ別にキッド、ティーン、アダルトの3リーグに分かれて戦ったロボットの中から、全出場チームの投票で選ばれる。

昨年の大会で「CIT Brains」はキッドサイズ・リーグに出場し、決勝トーナメントではフランスやイラン、イギリスなどのチームを次々と破り、圧倒的な強さを発揮。また、頭の良さ(人工知能)と、身体能力の高さ(メカニクス)を競うテクニカルチャレンジでも抜群の成績を残した。

津田沼1号館の役員会

「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「世界のトップに立ったチームとして、私たちは大会で勝つことはもちろんだが、技術的にもこれから先のビジョンを世界に示す責任があります」と、CIT Brainsを率いる林原靖男教授はいう。

■ 連覇へ課題は
「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「世界のトップに立ったチームとして、私たちは大会で勝つことはもちろんだが、技術的にもこれから先のビジョンを世界に示す責任があります」と、CIT Brainsを率いる林原靖男教授はいう。

■ 連覇へ課題は
「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

「世界のトップに立ったチームとして、私たちは大会で勝つことはもちろんだが、技術的にもこれから先のビジョンを世界に示す責任があります」と、CIT Brainsを率いる林原靖男教授はいう。

■ 連覇へ課題は
「ロボカップ世界大会2015」は今年7月、中国安徽省の省都、合肥市で開かれる。

内田論文ベストポスター賞

国際会議SCIS&ISIS2014



内田真人准教授

ソフトウェアや知的システムに関する、アジアで代表的な国際会議「SCIS&ISIS2014」(12月3〜6日、福岡県北九州市の北九州国際会議場で開催)で、電気電子情報

工学科の内田真人准教授が発表した論文がベストポスター賞に選ばれ、表彰された。
論文は「Unsupervised Weight Parameter Estimation for Exponential Mixture Distribution based on Symmetric Kulback - Leibler Divergence (対称化カルバック・ライブラー情報量に基づく指数型混

解。内田准教授に解説してもらおうと、アンサンブル学習とは、例えば、選挙結果などのように、未来にならないと答えが分からない問いに対し多様な意見が得られた時に、それらを一つの意見に合理的に集約するにはどうすればよいか、を考察するもの。
表彰論文は、「得られた意見はどれも同程度に信用できる」という仮定の下で、アンサンブル学習のアルゴリズムが情報理論における情報量によってうまく特徴づけられ、二次計画問題という

最優秀に小高君

26年度 学生懸賞論文

昨年9月から募集していた今年度学生懸賞論文は読後感想文部門の2人に決定。12月12日に表彰された。作品は次の通り。
▽最優秀作品「モモ時間泥棒とめすまれた年・同左」

時間を人間にのりかえしたてくれた女の子のふしぎな物語」小高優太君(デザイン科学科2年・写真) 小宮学長の右)▽優秀作品「サラリーマン合気道」沼山幹継君(同4年・同左)



トランスフォーマー TVバトルに出場

未ロボ生ら35人が製作

トレジャーから身長2.6mの大型ロボットに変形し、対戦相手とバトル！未ロボ生ら35人が製作したロボットが、来年1月に開催される「トランスフォーマーTVバトル」に出場する。



変形ロボ「オプティマスプライム」の製作チーム

大歓声を浴びた。1年生25人に2年生1人、3年生4人、4年生1人、さらにOBなどが加わり、総勢35人がアイディアを出し合って製作したのは、日米をはじめ世界中の子どもたちに人気の変形ロボット玩具「トランスフォーマー」の総司令官「オプティマスプライム」(コンボイ)。

市政功労 3氏を表彰

行政・都市計画に貢献



小泉俊雄教授



山本明教授



篠田裕助教

政功労者表彰を受けた。長年、船橋市入札監視委員会副委員長として市の入札・契約に関し公平性・透明性の確保に尽力したとして贈られた。
また、小泉教授と、同科の山本明教授(地域計画・景観工学)、篠田裕助教(水工学)の3人は、

教育功労者に2氏

県私学教育振興財団が表彰



森下進一次長



鈴木一彦課長

泉俊雄教授(測量学・風工学)は昨年10月31日、船橋市から平成26年度市政功労者表彰を受けた。長年、船橋市入札監視委員会副委員長として市の入札・契約に関し公平性・透明性の確保に尽力したとして贈られた。
また、小泉教授と、同科の山本明教授(地域計画・景観工学)、篠田裕助教(水工学)の3人は、

月6日、千葉県私学教育振興財団から教育功労者として表彰された。
森下次長は昭和62年4月に勤務以来、総務課、学務課、津田沼学生課、新習志野学生課を歴任。特に大学の学事に関わる学務部で学部・学科改

吉岡課長を電気安全功労者表彰



吉岡志郎課長

建築都市環境学科の小泉俊雄教授(測量学・風工学)は昨年10月31日、船橋市から平成26年度市政功労者表彰を受けた。長年、船橋市入札監視委員会副委員長として市の入札・契約に関し公平性・透明性の確保に尽力したとして贈られた。

志郎施設課新習志野課長が昨年11月6日、さいたま新都心合同庁舎で開かれた表彰式で、電気安全功労者として表彰された。吉岡課長は昭和61年4月に勤務以来、施設課、芝園事務課で大学施設の設備拡充と設備管理業務に力を尽くし、本学の拡

発展に多大な貢献をした。平成25年には同様の理由で千葉県私学団体連合会から教育功労者として表彰されている。
吉岡課長は「新習志野

しながら、チャンスをつかんで攻撃を仕掛けようという作戦だが、これだけの大きさで変形し、かつ戦えるロボットは例がないでしょう(林原教授)。デザインの過程で「ト

ランスフォーマー」商品を展開している玩具メーカー、タカラトミーの支援を受けた。しかし「全工程の8割を1年生が担当しました。最終段階に入った10月末の3日間にはほ

「マスターズリーグ」技術を採用したチームに敗れたが、メンバーは「来年も挑戦したい」と張り切っている。
未ロボ製作の「オプティマスプライム」はタカ

大学の教育のより一層の活性化と教員相互の自由闊達な意見交換の場を作るという「FDフォーラム」は注目を集めている。昨年11月24日、津田沼校舎2号館会議室で開かれた。一昨年11月に続いて2回目の開催。

第一部ではまず、新潟大学教育・学生支援機構 大学教育機能開発センターの加藤かおり准教授が「これからの大学教員に求められる教育職能とは」と題して特別講演。新潟大学は、大学教員の職能開発やプロフェッショナルリズムに関しての幅広い研究で知られている。

大学教員の教育職能とは？

第2回「FDフォーラム」開く

この講演で加藤准教授は、大学設置基準では教授の資格について「大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者とする」とあるが、

一方で大学教員の「専門職業」(教育職、研究職)としての踏み込んだ研究は、ほとんど行われてこなかったとした。

その上で、教育・研究・大学運営といった教員の職務に関して、包括的な倫理綱領のようなものが必要であり、また、継続的に教員がプロフェッショナルリズムを維持するうえで、定期的に教員が研修できる体制が必要だと指摘した。

〔注〕FD (ファカルティ・デベロップメント) 大学教員の教育能力を高めるための実践的方法



FDフォーラムの第1部で



同第2部で

ただし、この基準組みはあくまで個々の教員が自分自身の置かれている状況に合わせて、具体的に目標を立てることが可能な柔軟性のあるものでなければ、教員自身の

「大学の目標や理念に基づいた教育プログラム作成能力」「学生の学習実態を把握する能力」「教職員間の学習を尊重したコミュニケーション能力」などが挙げられている。

この基準組みでは、教員に必要な能力として「大学の目標や理念に基づいた教育プログラム作成能力」「学生の学習実態を把握する能力」「教職員間の学習を尊重したコミュニケーション能力」などが挙げられている。

象度の高い「枠組み形式」として収斂させていくとのこと。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。



レモンが「甘しい」

科学広場 in 浦安に坂本研ブース

「世界一好きたい科学広場 in 浦安2014」(同実行委員会主催)が、好天の昨年11月22日、舞浜の浦安市運動公園総合体育館で開かれた。

2012年から始まったイベントで、子どもから大人まで、楽しく科学の不思議を体験してもらった。浦安市を拠点に行政や大学、企業、地域住民らが連携して開いている。会場は東海大付属浦安高等学校・中等

部だったが今年度、運動公園総合体育館に移して規模を拡大。屋内外に48のブースが展開した。

常連の本学は、「好評」ミラクルフルーツ体験ブースを今年も設けた。生命環境科学科・坂本泰一研究室の学生たちが参加し、レモンを用意。来場者に口に含んでもらい酸味を感じてもらった後、ミラクルフルーツを食べてもらった。そこで再度、レモンを食べてもらったと、レモンが不思議に甘

く感じることを体験してもらった。

体験者たちは口々に

学生・教職員の疾病予防と健康増進を図るため今年4月1日からキャンパスの全面禁煙化を目指す本学は、昨年11月19日、十文字学園女子大人間生活学部教授・健康管

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

4月〃全面禁煙化〃へ講演

煙害研究・齋藤氏を招いて

理センター長の齋藤麗子氏を招き、津田沼校舎2号館、新習志野校舎12号館の各会議室で喫煙の害に関する講演を行った。

禁煙化は本学が掲げる大きな目標の一つ。齋藤

氏は、会場に入るなり、「現在、愛煙家の方はいくらいらっしゃるでしょうか？」と問いかけた。

両校舎合わせ出席者約60人の大半が手を挙げると「皆さんお気づきですか

？今喫煙しているわけでもないのに、すでに、この会場にたばこの匂い

たちの健康に、より大きな影響を与え、危険度が高い▽喫煙者が非喫煙者

がほかにして「世に与える害」などを多方面から語り、理解を促した。

参加学生たちは「禁煙講演を、もっと多くの学生に聞いてほしい」と思っていた。教職員たちは「知らない知識が多かった」「世界標準の内容が大変参考になった」。

「知らない知識が多かった」「世界標準の内容が大変参考になった」。

「知らない知識が多かった」「世界標準の内容が大変参考になった」。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

「あまーいーい！」「不思議！」と驚いた。学生たちが、たんばく質受容体の仕組みによるもの、と説明すると、「科学っておもしろいですね」と、笑顔でブースを後にした。

発見！ 未来人

英弘精機株式会社
角 康行さん

1999年、工業デザイン学科卒

在学中には、地球環境保全のために温暖化ガス排出の少ないことで近年見直されてきている鉄道、とりわけ路面電車を取り上げ、そのデザインを卒業研究として発表しました。卒研のために研究室の仲間と連日制作に取り組んだことは忘れられない思い出です。

現在は、自社のホームページやカタログの制作と管理など、主にビジュアルデザインによって、販売を促進する役割を担当しています。学生時代に芽生えたエコロジーへの関心が、年々高まる再生可能エネルギー技術の革新に役立てられる計測機器を扱う職場での活動につながっています。

英弘精機は間もなく創業90周年を迎えます。太陽光発電評価システムなど



創立85周年記念旅行のときに (写真右)

の製造・販売で、地球環境の保全、改善およびその調査研究に貢献しています。特に国産初で永らく観測に利用されている日射計では、世界有数のメーカーに数えられており、全国のアメダスにも配備されています。

弊社も一段とグローバル化を進めており、その成長の中で地球環境保全につながる仕事に携われることにやりがいを感じています。

事業内容	理化学機器、計測機器の開発、製造、販売。広帯域分光放射計の開発によって、グローバルニッチトップ企業として経済産業省から表彰された。
所在地	〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-21-8

